

結果の概要

～平成26年1月分～

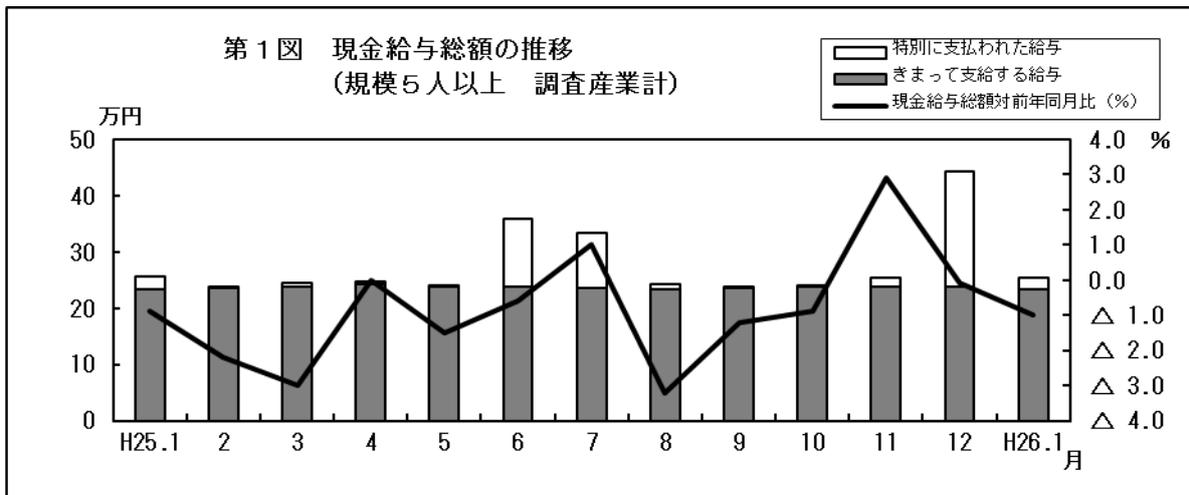
1 賃金の動き

1月分の調査産業計の1人当たりの月間現金給与総額は、254,068円となり、その指数は対前年同月比1.0%減（規模30人以上では、279,563円、2.7%減）となった。（第1図、第1・2表）

また、きまって支給する給与（定期給与）は、232,813円、対前年同月比は0.1%増（規模30人以上では、253,669円、0.1%減）であった。（第1・2表）

きまって支給する給与のうち所定内給与は、216,128円、対前年同月比は0.4%減（規模30人以上では、233,646円、0.3%減）であった。（第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の現金給与総額は、359,180円（規模30人以上では、378,335円）、パートタイム労働者は、91,820円（規模30人以上では、103,199円）であった。（表20・21表）



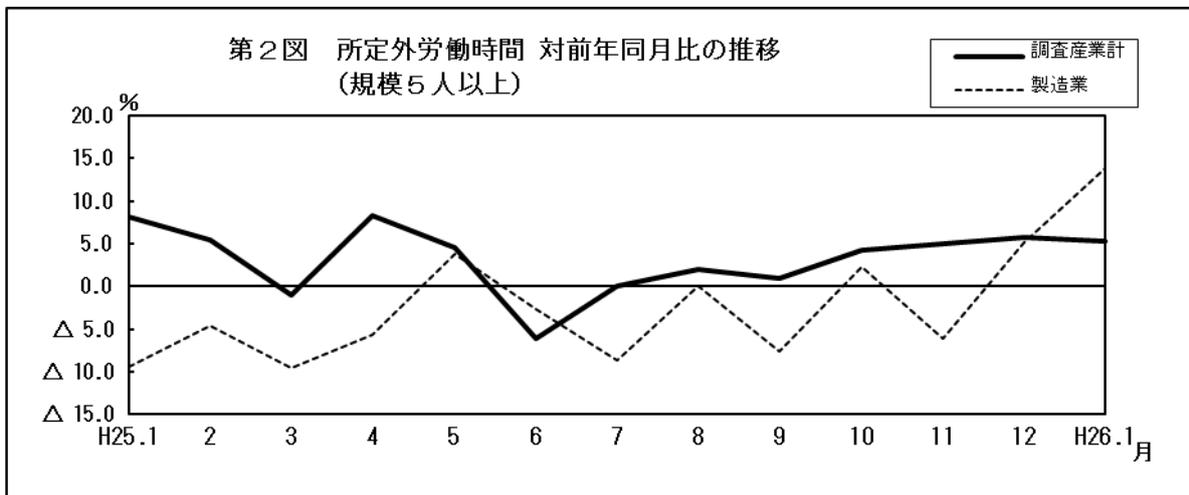
2 労働時間の動き

1月分の調査産業計の月間総実労働時間は、129.5時間、対前年同月比は2.1%増（規模30人以上では、135.1時間、1.9%増）となった。（第1・2表）

また、所定外労働時間は、9.9時間、対前年同月比は5.3%増（規模30人以上では、11.1時間、0.9%減）であった。（第2図、第1・2表）

製造業の所定外労働時間は、13.1時間、13.9%増（規模30人以上では、13.8時間、10.4%増）であった。（第2図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の総実労働時間は、158.3時間（規模30人以上では、158.7時間）、パートタイム労働者は、84.9時間（規模30人以上では、92.8時間）であった。（表20・21表）



3 雇用の動き

1月分の調査産業計の推計常用労働者数は、規模5人以上で2,031,015人、対前年同月比は0.1%増（規模30人以上では、1,164,909人、対前年同月比は0.1%減）となった。製造業では389,302人、対前年同月比は0.7%増（規模30人以上では、276,664人、対前年同月比は0.3%増）であった。（第3図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者数は、1,232,626人（規模30人以上では、746,816人）、パートタイム労働者数は、798,389人（規模30人以上では、418,093人）となり、常用労働者中のパートタイム労働者の比率は、調査産業計で39.3%（規模30人以上では、35.9%）であった。（第1・2・20・21表）

